

支持政党なし TOKYO

良識ある保守主義・情報公開

都民代表:吉田つとむ(町田市議)

<編集発行>

支持政党なし TOKYO
〒194-0011 町田市
成瀬が丘 1-14-12
サンホワイト E103-13
自宅 042-795-7361
FAX 042-795-2726
yoshidaben@gmail.com



インターンシップ好評
若者育成・就業支援

経済の活力には消費税ゼロ政策

この間、3度の緊急事態宣言が出され、主に飲食店の時短営業、最後は酒類を出さない要請が伴いました。コロナ感染者の低減に一定の効果はあるでしょう。しかし、無限に継続するわけにはいかず、早晚、店内の飛散防止策の徹底化に変化せざるを得ないでしょう。

この間、飲食店には営業補償的に、各店6万円、あるいは4万円が支給され、国の予算などを使った店舗の営業補償が、自治体独自にも追加されてきましたが、それは#時短ビジネスという、働かない方が儲かるという、不道德な商売につながり、他の一般の販売業者、あるいはそれらの従事者に不評を募らせています。消費者も同様です。これらは、大きな政権批判の要因にもなっています。



吉田つとむは、国が特定業者に補助金をつぎ込むのではなく、公平な施策がどの事業者にも及ぶべきで、今の苦境を乗り越えるには、消費税をゼロにして、公平化し、そして一般消費を増やし、商業を活性化し、産業の増大による、個人と法人の所得税の増加を算段を図るべきだと常々主張しています。国政の政治家にも、そうした考えの意見が出始めました。まず、東京がその起点となるべきであり、都政の価値転換が絶対に必要です。

オリンピックの開催実施構想は矛盾だらけ

まだ、オリンピックが本当に開催できるかどうか全く不明ですが、組織委員会は、その開催に向けて様々の手当てをしています。*なお、吉田つとむは、「オリンピックを中止しよう」といち早く表明し、その反対運動を展開しています。オリパラ大会に関する来日見込み人数ですが、仮に入国する外国人観客をゼロにしたとしても、オリパラの出場選手や代表団、それらのサポートの要員、その他もろもろで、来日する外国人を10万人規模で東京都は受け入れるようです。

町田市もオリパラの出場選手の数か国の事前キャンプ地の一つとして名乗りを上げていますが、組織委員会が予定する考えでは、選手などは1日も隔離期間設定が無く、いきなり指定の体育館などで練習し、最寄りのホテルに宿泊し、五輪大会に備えることに話が進められていると報道がありました。選手らは人と人の接触を控えるとされていますが、練習会場を訪れる選手らが施設の構造や使い勝手を知るわけがなく、施設で働く人たちのお世話にならざるを得ません。果たして、それでコロナ感染の恐れはないと言えるのでしょうか?変異ウイルス拡大の発生源となる可能性があるのではないのでしょうか。

写真は、私学バレー大会のものを参考使用



★「支持政党なし TOKYO」は、支持政党を持たない、持ちたくない人の意見を代弁します。
★「良識ある保守主義」は、権威を否定し、柔らかい思考にもとづいて議論をする立場です。

支持政党なし TOKYO

若い世代の育成に全力をささげる

都民代表:吉田つとむ(町田市議)



ブログ 個人HP

メールは
左記を誂込
して送信



インターン生募集中
社会見学・体験勉強

インターン体験記①岡本和樹

今回、初めて吉田議員にお会いしました。議会議員の方とお話しさせていただくのが初めてだったので緊張していましたが、吉田議員は気さくな方ですぐに緊張はほぐれました。今回は初回だったので、カフェでお互いのことを紹介しあいました。まず驚いたのは、吉田議員の顔の広さでした。カフェのテラス席に座って話していると、道行く人に何度も吉田議員が話しかけられていました。市議会選挙で3期連続トップ当選をしている方はこれだけ顔が広いのだと感心させられました。

また、吉田議員は若者の就職支援にかなり力を入れているようで、過去のインターン生のお話も聞かせていただきました。吉田議員のインターンでは議会議員としての仕事を学べるのはもちろん、様々な分野の民間企業への訪問もしており自分の将来を決めるうえで大きなサポートをしていただけたと感じたため、インターンに参加させていただくこと



通行人の方に撮影していただきました

を決意しました。これからの10回に渡るインターンをしっかり身になるよう頑張っていきたいと思います。

インターン体験記②岡本和樹

今回は町田市議会の傍聴をさせていただきました。現在はコロナウイルスが蔓延しているため図書室のテレビでの会議傍聴となりました。会議内容としては主に町田市の一般会計補正予算について行われていました。今年度はコロナウイルス対策のため飲食店や医療現場への補助やキャッシュレス決済を促進するための予算について話し合われていました。感染予防対策は昨年から行われていたことから、今回はそのときの予算を前提に増減しながら編成していました。吉田議員は質疑応答でキャッシュレス決済のことについて重点的に質問しており、特に印象に残っているのはキャッシュレス決済を促進するのに委託する会社がなぜペイペイの一社なのかという質問でした。一般的に普及しているキャッシュレス決済事業を行っている会社としてはラインペイやアップルペイなど様々な種類がある中で、何種類か使用できた方が顧客側としては使用率の上昇にもつながることが考えられるにも関わらずペイペイ1社だけに委託する理由はなんなのかという意図でした。これに対する回答としては店側の費用を軽減することや混乱をなるべく減らすことなどが挙げられましたが、私も吉田議員と同様それを差し引いても今後のキャッシュレス決済普及につなげるためいくつかの会社に委託すべきではないかと考えました。

立教大学令和3年新卒 岡本和樹(第47期生)

- ★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、多数の体験者が実社会で活躍中。
- ★ インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。
- 昨年春以降の研修では、特別の記念撮影を除いて、行動中は全てマスクをかけています。